

# 病院図書室担当者による 自作業務支援データベースシステムの1例

田島裕子<sup>1)</sup>，佐藤光稔<sup>2)</sup>，小杉直美<sup>2)</sup>  
JA 北海道厚生連札幌厚生病院 <sup>1)</sup>医療情報課，<sup>2)</sup>総務課

## 1. 背景と目的

着任時，最適かつ低価格な「病院図書室用」業務支援システムが見つからなかったこと，非採算部門としては業務用システムのための予算化が困難であったこと，また，前任者から引き継いだ台帳類が FileMaker Pro 環境下で作成されていたこと，および担当者が情報処理技術者だったこともあり，自室運営のための業務支援システムの構築を試みたので報告する。

## 2. 実施内容

FileMaker Pro 6 でネットワーク型図書室業務支援システムを構築した。期間は 2000 年 7 月から 2014 年 7 月。図書業務を学びながら業務上の需要に応じ漸増型でシステム構築を行った。IT 化することにより効率化可能と判断した業務を下記①～③のカテゴリに分け 3 本柱とした。

- ① 相互貸借：＜院内＞利用者受付，書誌事項確認支援 Web リンク，依頼先検索，外部機関への各種様式申込書作成，戻り文献チェックイン，文献手交チェックアウト，利用者用配布案内，＜院外＞外部文献受付，文献送付・謝絶案内，月次・年次統計
- ② 逐次刊行物：逐次受入，雑誌特集記事記録・検索，製本準備台帳，製本台帳，雑誌所蔵目録印刷，院内周知用各種案内印刷
- ③ 図書：発注リスト作成，発注書作成，納入図書自動登録，受入，図書ラベル・バーコードシール印刷，図書カード印刷，検索，貸出／返却，蔵書目録印刷，購入図書手交用各種案内印刷，新着図書等各種データエクスポート，月次・年次統計

その他

- 利用者用サービスモード：雑誌検索，図書検索，文献手配状況参照
- 管理：相手先図書室/館マスタメンテ，相互貸借所蔵目録メンテ，出版社マスタメンテ，利用者マスタメンテ

## 3. まとめ

ネットワーク型 DB の特性により，別室での兼務者が増員された現在も，場所を問わず執務可能で業務が効率よく分担できる。また，文献受付から戻り文献の利用者への手交までや，図書発注から台帳登録・装備出力までの一連の流れのスク립トによる自動化で労力が低減できた。バーコード蔵書点検や書誌データインポート，上位バージョンへの移行など未完の課題も多いが，現場の生の需要に即したシステムとして，専用システムが少ない状況下で一定の成果は感じられたので 1 例として紹介できれば幸いである。